

甲南

貴生川

三雲

草津線スマート通勤プロジェクト

みんなで支えよう 私たちの草津線

寺庄

甲西

甲賀

I 草津線

石部

草津線は、通勤・通学、通院や買い物など、私たちの日常生活を支える重要な交通手段であり、観光振興や企業誘致など地域経済にも重要な役割を果たしています。

草津線を維持・活性化し、地域の明るい未来をつくっていくために、私たちができることをともに考え、実践してみませんか？

油日

手原

柘植

草津

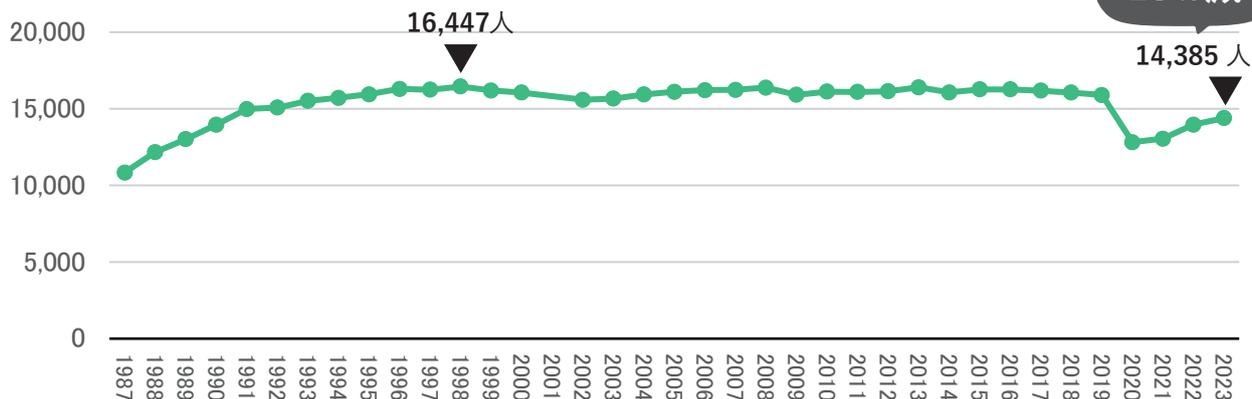


草津線を知る / 草津線の利用者が減少しています！

草津線の利用者数の推移

草津線の利用者数（乗車人数）は、1998年度をピークとして微減傾向にあり、ピーク時に比べて全体（手原駅～油日駅間）で13%減となっています。

【草津線（手原駅～油日駅）の利用者数の推移】

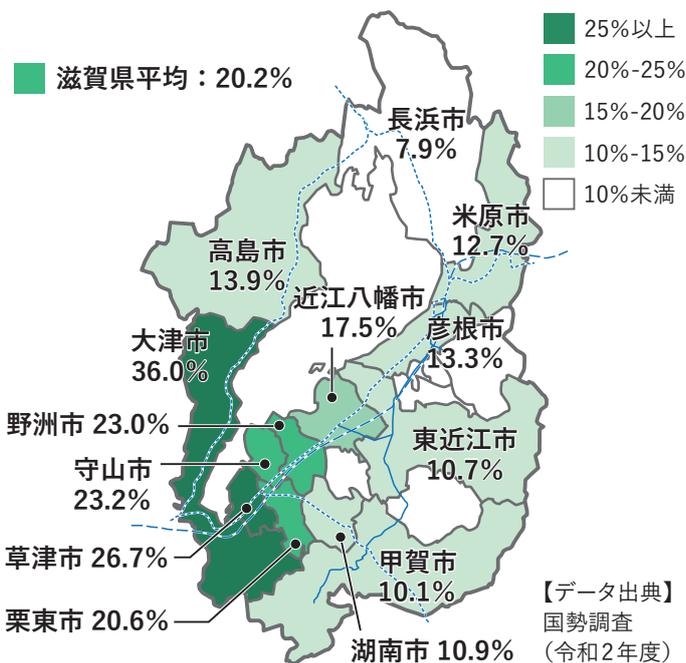


ピーク時から
13%減

鉄道利用者の割合

通勤や通学で鉄道を利用する市民の割合は、滋賀県平均が約20%であるのに対し、甲賀市や湖南市では約10%と平均を下回っています。

しかしながら、逆に**利用者を増やせる伸びしろがある**とも考えられます。



鉄道利用状況

草津線の輸送密度^{※1}は、近隣のJR西日本路線と比較しても低い水準になっています。**草津駅～貴生川駅間でも湖西線の約半分**に留まっています。

※1) 輸送密度：1日あたりの平均輸送量で高い方が利用が多い路線を意味する

※2) JR西日本が路線のあり方を協議する必要があるとしている基準

【輸送密度】

（令和5年度）

路線（区間）	輸送密度
琵琶湖線（米原～京都）	107,473人/日
湖西線（山科～近江塩津）	33,177人/日
草津線（柘植～草津）	10,339人/日
草津線（草津～貴生川）	16,122人/日
草津線（貴生川～柘植）	2,250人/日
JR西日本の運行基準（※2）	2,000人/日

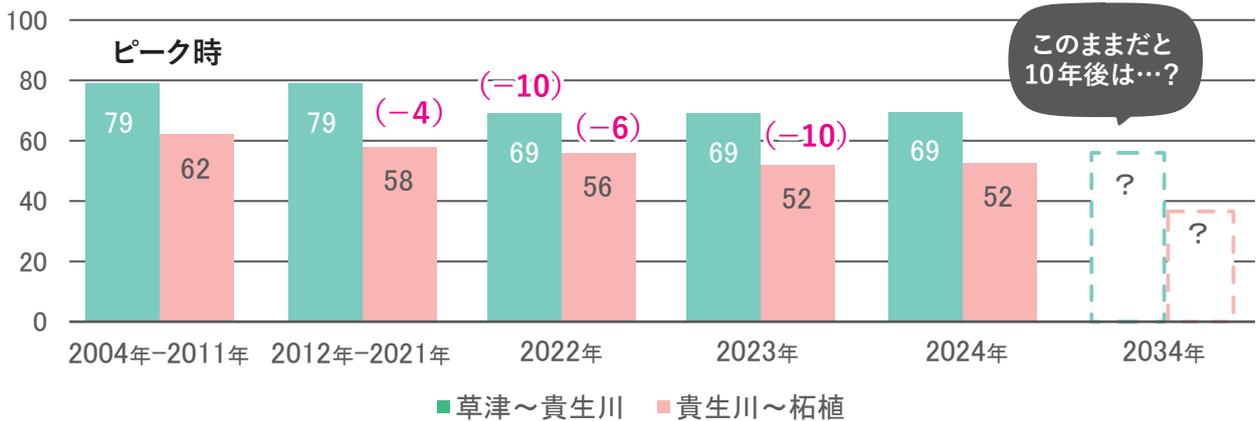
\ 草津線を知る /

草津線はこのままだとどうなるだろう？

草津線の運行本数は減少しています

●草津線の運行本数は、ピーク時の2024年-2011年と比べ、草津駅～貴生川駅間、貴生川駅～柘植駅間でそれぞれ10本も減便になっています。

【草津線の運行本数の推移（1日あたり上下本数）】 ※（ ）内の数値はピーク時からの減便本数

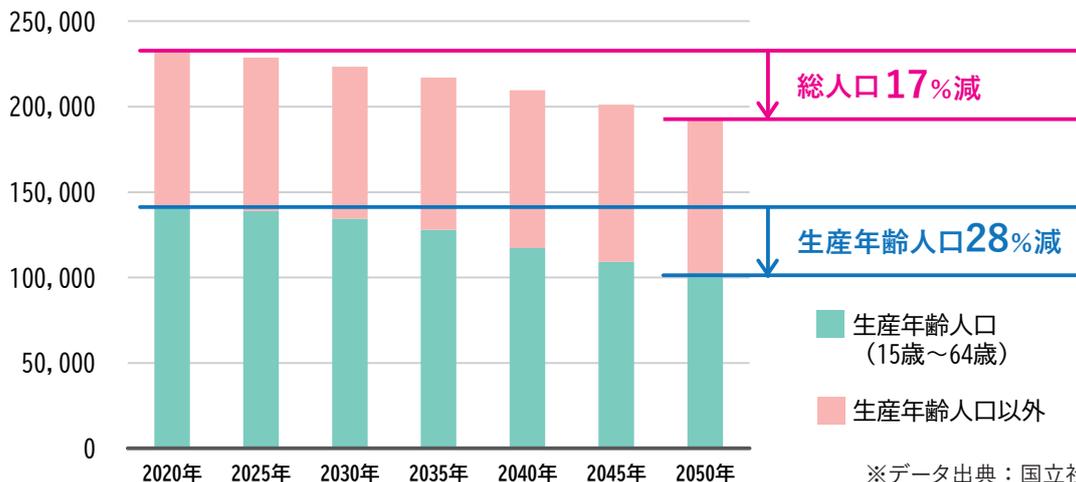


※各年4月時点の運行本数（前年度末のダイヤ改正を反映）

草津線沿線の人口が減少しています

- 草津線沿線（栗東市、甲賀市、湖南市、日野町）の人口は、2050年には総人口で17%減少、鉄道の主要な利用者である働く世代（15歳～64歳）では28%減少と予測されています。
- そのため、このまま何もしなければ、草津線の利用者はさらに減少する可能性が高い状況にあります。将来にわたって、草津線を維持していくためには、私たち沿線居住者や沿線企業の1人ひとりが利用を増やすことが不可欠となっています。

【沿線市町の将来推計人口】 ※沿線市町=栗東市・甲賀市・湖南市・日野町



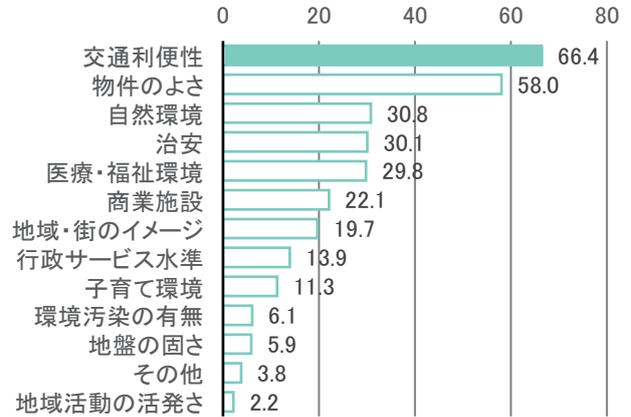
※データ出典：国立社会保障・人口問題研究所（2023年推計）

\ 草津線がなくなったら① / 地域はどうなるだろう？

鉄道は地域の魅力の重要な要素です！

- 居住地を選択する際のポイントとして、「交通利便性」が最も重視されています。
- そのため、交通利便性が低下すると、沿線に引っ越してくる人は減り、別の地域へ出ていく人が増え、地域の人口減少が加速するおそれがあります。
- 企業にとっても交通利便性が低下すると、雇用維持や新規採用が困難になり、立地企業の減少・撤退につながるおそれがあります。

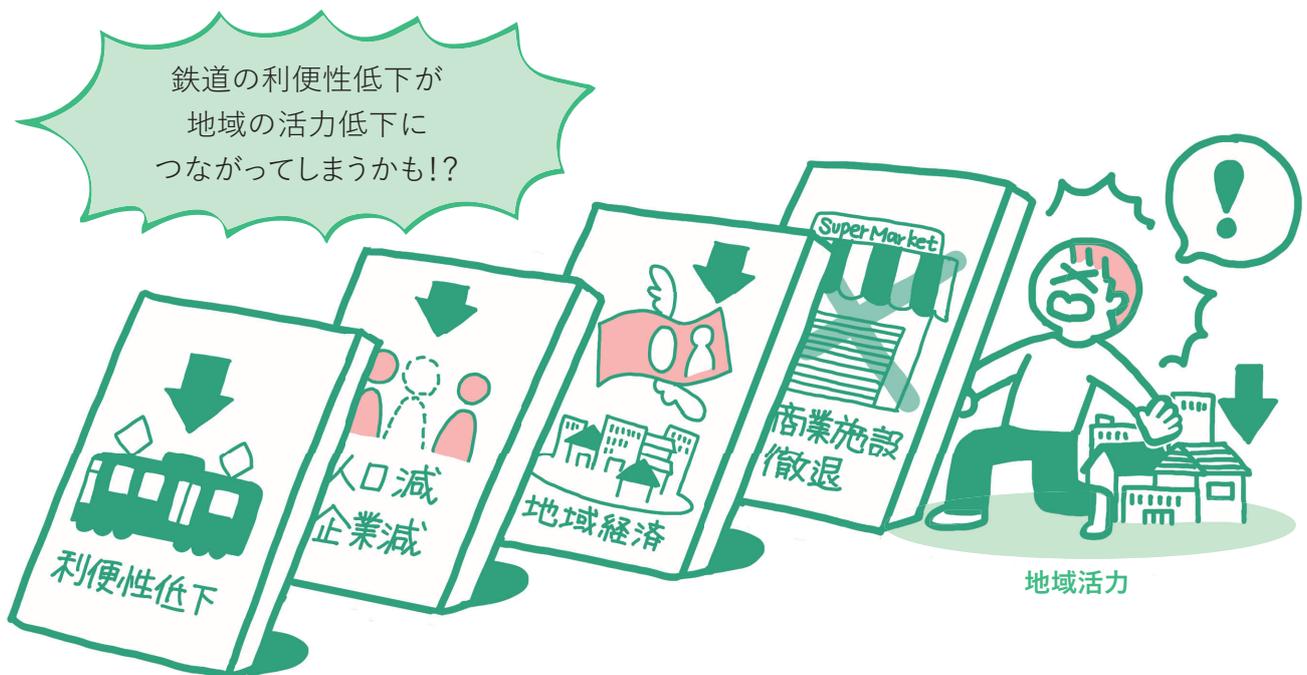
【居住時の重視項目】



※居住地域に関する意識調査（H22、国土交通省）

地域活力の維持には鉄道が必要です！

- 居住者や立地企業が減少すると、地域経済が縮小し、税収減少に伴う行政サービスの低下、スーパーマーケットなどの商業施設の撤退など、地域全体の活力が低下することになりかねません。



\ 草津線がなくなったら② / 地域の人たちの生活はどうなるだろう？

草津線を使う人たちに聞きました！



草津線を使わない人たちも他人事ではない！？

道路渋滞の悪化

草津線が使えなくなり、みんなが車で移動するようになると、道路が大渋滞して通勤時間に間に合わなくなったり、より早い時間に出勤することになる恐れもあります。



家族による送迎の負担増

家族が草津線を使っている家庭では、草津線が使えなくなった場合に車による送迎が必要になるかもしれません…。



草津線を利用する6つのメリット!

check01

公共交通の利便性向上!

公共交通を利用する人が増えれば、鉄道の運行本数も増えて、利便性が高まります。



check02

渋滞解消・交通事故減少

クルマを利用する人が減れば、道路渋滞や交通事故を減らすことができます。



check03

クルマにかかるお金を抑制!

クルマは購入費やガソリン代等で1台・1年間あたり約70万円かかります。クルマの利用頻度を減らすことで、所有台数を減らしたり、買替サイクルを延ばせば家計も楽になります。

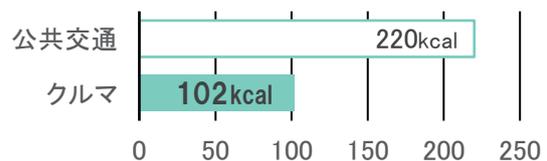


check04

健康増進!

クルマの利用を減らし、公共交通利用を増やせば、歩く機会や消費カロリーも増えて、健康増進につながります。

【消費カロリー(クルマで1時間の距離)】



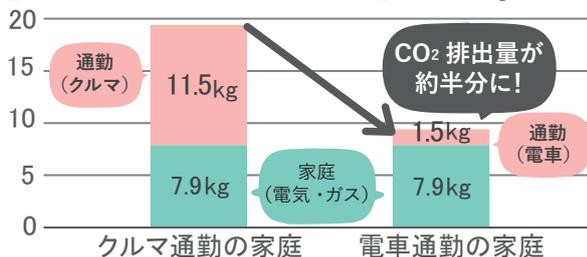
※出典：京都大学藤井聡「車利用と『健康』」

check05

排気ガス削減! CO₂削減!

クルマからの排気ガスを減らすことで、CO₂や大気汚染物質を削減することができます。

【1日1世帯あたりのCO₂排出量】(単位: kg/日)



(家庭2人がそれぞれ20km先の職場に通勤する場合(貴生川駅⇄草津駅に相当))

check06

クルマではできないことができます!

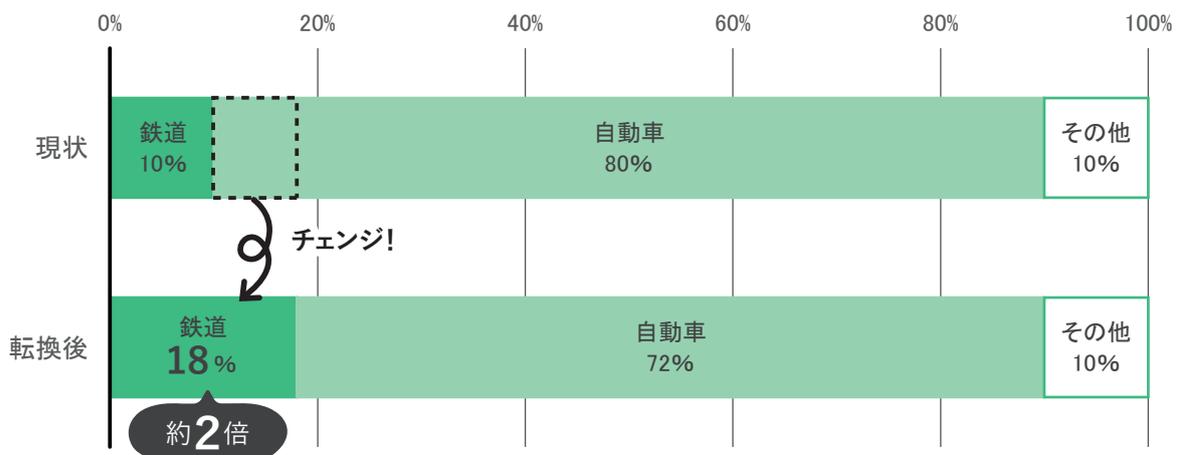
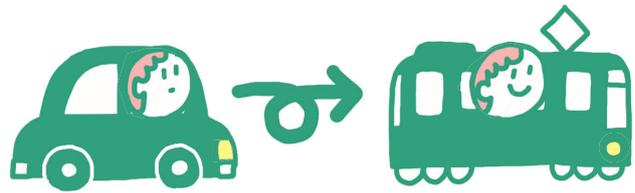
クルマの運転時間とは異なり、鉄道の乗車時間は自由な時間!



草津線活性化のためにできること

マイカー通勤者が少しだけ鉄道を
利用するだけで変わります！

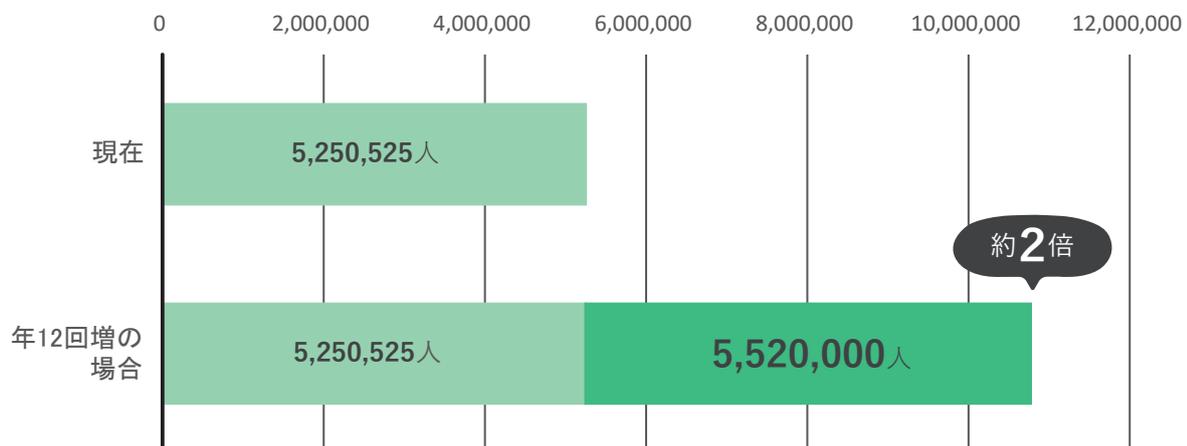
マイカー通勤者の1割が鉄道通勤
に変われば、鉄道利用者が現在の約2倍に増加します！



そこで

まずは草津線の利用を毎月+1回
してみよう！

草津線沿線の住民23万人が、**鉄道利用を月1往復（年12往復）増やす**だけで、草津線の利用者は現在より約2倍になります！



草津線の活性化 と一緒に取り組みませんか？

私たちができることがあります！

私たちが草津線のためにできること、それは一人ひとりが今より少しだけ草津線を利用することです。



普段はクルマや自転車で
通勤・通学している方

月1回だけ鉄道 DAYを
つくって、草津線に
チェンジ！



普段はクルマで
通勤している方

健康維持のためにも
マイカー通勤を鉄道通勤へ
チェンジ！



普段から通勤・通学等で
草津線を利用している方

いつもはクルマで行く
休日のおでかけを月1回
だけ草津線にチェンジ！



草津線を応援する「草津線利用促進プロジェクト」を実施中！

- プロジェクトのWEBサイトの他、SNSでも草津線の各種情報を発信中！フォローすれば、あなたも今日から草津線ファン！
- 「草津線サポーター」募集中！草津線活性化の活動に対する各種補助金もあります。是非ホームページをチェック！

プロジェクト
ホームページ



Instagram



facebook



【発行元】草津線利用促進プロジェクト（事務局：滋賀県交通戦略課）

【発行年】令和6年（2024年）

【問合せ先】滋賀県交通戦略課 TEL：077-528-3684 E-mail：hc0002@pref.shiga.lg.jp